

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

798

漁港管理事業

[長期総合計画]

分野別目標	1	安定した雇用を生み出す産業が元気なまち
政策	3	農林水産業の活性化
施策	2	水産業の振興
取組方針	3	漁業を取り巻く環境の整備・保全

事業区分(1)	事業経費		管理経費	○
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計		一般会計	
	款		農林水産業費	
	項		水産業費	
	目		漁港管理費	
	大事業		漁港管理事業	
中事業		漁港管理事業		

事業種別	継続		関連個別計画	
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel 農林水産課 中兀 成浩 435-1049
事業実施の根拠法令	和歌山市漁港管理条例		関連課	

1 事業内容

事業目的	(「誰・何」をどういう状態にするための事業か)		全体事業概要			
	漁港施設の維持管理業務		和歌山市管理漁港である雑賀崎漁港および田ノ浦漁港における漁港施設の維持管理および必要な施設を整備する。			
事業内容		令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度
		漁港施設の修繕工事等	漁港施設の修繕工事等	漁港施設の修繕工事等	漁港施設の修繕工事等	漁港施設の修繕工事等

2 事業コスト

事業費等(千円)	令和02年度		令和03年度		令和04年度		令和05年度		令和06年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	36,374	36,438	32,611	32,269	31,540	30,487	37,034	0	37,034	0
伸び率(%)	△45.8%	△41.5%	△10.3%	△11.4%	△3.3%	△5.5%	17.4%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	8,361	7,803	6,749	7,447	6,507	0	6,507	0	6,507
	正規職員以外	1,280	1,298	1,927	1,927	444	0	444	0	444
	小計	9,641	9,101	8,676	9,374	6,951	0	6,951	0	6,951
国庫支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	3,200	3,900	0	0	0	0	3,500	0	3,500	0
その他	36,765	37,368	36,736	38,609	40,239	0	41,579	0	41,579	0
一般財源(税等)	△3,591	△4,830	△4,125	△6,340	△8,699	30,487	△8,045	0	△8,045	0
所要人数(人)	正規職員	1.05	0.98	0.87	0.96	0.87	0.00	0.87	0.00	0.87
	正規職員以外	0.48	0.49	0.52	0.52	0.23	0.00	0.23	0.00	0.23
主な予算内訳	漁港管理委託料 21,137千円									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		令和02年度	令和03年度	令和04年度	令和05年度	令和06年度
				目標値	実績値	達成度(%)	目標値	実績値
活動指標	海水浴期間中の浪早ビーチでの死亡事故の件数	人	目標値	0	0	0	0	0
			実績値	0	0	0		
			達成度(%)	100%	100%	100%	%	%
成果指標	漁港施設の使用料等の歳入の増額を図る。	千円	目標値	36765	36736	40239	40239	40239
			実績値	36877	38551	40342		
			達成度(%)	100.3%	104.9%	100.2%	%	%
			目標値					
			実績値					
達成度(%)								

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか	○	増加している		横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か	○	現行の手段でよい		一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか	○	達成している (90%以上)		おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度	○	重要かつ高い貢献度がある		一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実				
	現状維持			○	
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	雑賀崎、田ノ浦漁港の維持管理を行うための漁港管理事業の事業費の大半を漁港施設の使用料等の歳入でまかなっているため現状維持のままで妥当であると考えています。
見直し・改善内容	平成28年度に浪早ビーチの駐車場を自動化にしました。 今後、雑賀崎及び田ノ浦漁港の漁港施設の機能保全計画を策定し、老朽化等により修繕が必要な箇所があれば整備を行い、本来の漁港機能を発揮していきたいと考えています。